

読売新聞 きょう（11月8日）のイチ押し

1面 無症状でも無料PCR 「第6波」対策で政府方針

政府は新型コロナウイルス感染の「第6波」対策として、無症状者のPCR検査と抗原検査を無料で実施する方針を固めました。12日の政府対策本部で決定する総合対策に盛り込みます。本紙の特ダネです。

- ★ これまでは、発熱症状のある人や濃厚接触者など、医師や保健所が必要と判断した際の検査は無料でした。今後は都道府県指定の検査場では、無症状者でも全て無料にします。
- ★ 総合対策では、希望する軽症者全員が滞在できる「待機施設」の準備を都道府県に要請することや、12月から開始予定の3回目のワクチン接種では職域接種も認める方針なども盛り込まれます。

社会面 コロナ困窮 病院行けない

コロナ禍で収入を失い、病気を抱えながら受診を控える人が増えています。無料や低額で受診できる生活困窮者向けの制度「無料低額診療」もありますが、医療関係者からは課題や問題点を指摘する声が出ています。

- ★ 日本は国民皆保険で、医療費は患者負担1～3割で済みますし、生活保護受給者なら生活保護費から全額支払われます。しかし、生活保護を受給するほどではないものの、自己負担分を払えない人たちもいます。受診を控えることで治療が遅れ、中には命を落とすケースもあります。
- ★ 「無料低額診療」は社会福祉法に基づく制度ですが、支援が必要な人に十分周知されているとはいえず、利用できる病院も全体の0・4%にとどまっています。利用できる人の所得額や減免される医療費が各病院の裁量に任されている点も課題と言えます。

他紙と比べて

就職活動をする学生らに役立つ情報をお届けする毎週月曜朝刊の「就活ON!」。本日は2ページの拡大版です。メインテーマは「DXで変わる仕事」。デジタル技術を活用して業務の効率化や組織・働き方の変革をはかるDX（デジタル・トランスフォーメーション）に企業は今、どう取り組んでいるのかを特集しています。